

地球のステージに参加しました

2月6日(日)名取市文化会館にて『地球のステージ・番外篇スペシャル』がありました。雰囲気の良い会場には300名近い来場者があり、佐々木名取市長の姿も見えました。公演終了後に「番外篇」は「地球のステージ・6～久遠の帰還」となり、6番の初演となった記念すべきステージでした。宮城県支部が「後援」しているので、ユニセフ・グッズの販売ができ、25,000円の売り上げがありました。「イトカちゃんバッチ」10個すべてが売れました。(なぜでしょう?)



2011年度のユニセフのつどいは・・・

2007年の「ユニセフのつどい」で「地球のステージ4番」を開催しましたが、2011年度の「ユニセフのつどい」は、6月4日に「5番」を開催予定です。『国際協力篇』や唯一の日本を取り上げた『ヒロシマ篇』が入っています。

見たことのある方はもちろん、まだ見たことのない方はぜひごらんください。

国際協力活動の理解と共感につながるステージです。



みやぎ生協「平和のつどい」で学習しました

2月14日(月)柳生店で『みやぎ生協と平和活動』について釜薙勝宏さん(元みやぎ生協常務理事)の講演があり、みやぎ生協のことを理解するためには絶好の機会と思い、大平さん、千葉さん、事務局の小野寺さんが学習してきました。みやぎ生協の「一人は万人のために、万人は一人のために」「平和とよりよき生活のために」というスローガンをかみしめた一日でした。ユニセフと生協は切り離すことのできない「すてきなパートナー」です。



出前講座 明治青年大学

1月19日(水)仙台市太白区文化センター(楽楽ホール)で「世界の子どもたちとユニセフ」と題して講座を行いました。大平さん、折原さん、千葉さんが講師を務め、武田さんと事務局小野寺さんがグッズ販売で参加しました。講座終了後の約20分間でグッズが約42,000円の売り上げがありました。千葉さんが講座の最後に壇上から呼びかけたことが皆さんの心に響いたのでしょう。500人の参加者を前に堂々としたみごとな講師陣でした。

TAP PROJECT 参加店を募集中!

2007年、ニューヨークで始まった新しい形の支援の方法。日本では2009年から東京、大阪、名古屋などで開催され、今年初めて全国展開することになりました。国連が定める「世界水の日」(3月22日)に合わせ、3月19日～27日まで全国一斉に実施されます。レストランや喫茶店などで提供される「水」に対して、お客様が任意の募金を置くという方法です。仙台では、ウェスティンホテルなどが参加を表明しています。皆様ご存知のどこか飲食店をご紹介くださいませませんか?



外国コイン実行委員会

今年7月30日に実施する「外国コイン仕分け活動」に向け、昨年11月20日より、月1回の割りで実行委員会を開催しています。“みんなで作りあげる活動”として、主体的に取り組まれています。いろいろな新しい意見も出されています。まだ参加していない方、大歓迎です。次回は2月19日(土) 10:30～12:30 会場はウィズ教室2



なかなか継続できない「通信」でしたが、“UNICEF NEWS in みやぎ”(年4回発行)ではお知らせしないような内容ができるだけ早くお届けしようと思います。掲載したい情報がありましたら、メールでお寄せください。 五十嵐

